

TPPPの 第一次産業への影響は 町村会・農業団体等と 連携し反対

武田 猛見議員

問 菅首相の突然の環太平洋経済連携協定（TPP）への検討表明で大混乱が生じています。JA全中・全漁連・農業委員会でも反対の決議を上げました。

答 菅首相の突然の環太平洋経済連携協定（TPP）への検討表明で大混乱が生じています。JA全中・全漁連・農業委員会でも反対の決議を上げました。委員会は、農協などからも反対の決議が上がっており、連携をとって進めてまいります。

② 大きな打撃で農地の荒廃が進むでしょう。コメと生乳を県の算定方法で試算しますと、23億円の減少が見込まれます。

③ このままでは年が越せないほどの、米価の下落に対して村としての支援策は。

答 ① 国内総生産に換算すると8兆円を超えるといわれています。

本村の農業も大変重要な産業であり、農地がもたらす機能は多岐にわたっております。

問 村長が選挙公約に「医療費の拡充はどの部分か」

掲げた基本政策の中の、医療費助成の拡充についてお聞きします。

① 助成の拡充といっても、範囲が広いがどのような施策を考えているのか。

② 「所得制限の撤廃」についての考えは。

答 ① 県内多くの市町村が単独事業として拡充を図っていますが、乳幼児、身体障がい者、寡婦、特別児童扶養手当、障害基礎年金などがあります。23年度は、乳幼児の窓口での負担軽減のために半額と致します。

② 所得制限については現行のまま行います。



▲今日も元気で学校へ

デジタル教科書の 導入活用は 教科書の機能等を 調査・研究

相原 孝彦議員

問 発達障がいなどで「読み」が困難な児童・生徒のためのマルチメディアデジタル教科書（デジタル教科書）があります。本村では利用されているのか。

答 「デジタル教科書」は、パソコン等の画面に教科書の文章や写真等が映し出され、児童・生徒が、録音された文章の音声聞きながら読み進み、音声に対応する文章の色が変わって強調されます。また、音声の速さや、文字の大きさも調整でき、読みが困難な学習障害等の児童生徒のみが、使用でき、教員は、実際の指導にのみ利用できるものです。

また、従来はパソコンにプロジェクトを接続し、教室を暗くし、映像を映していましたが、パソコンや再生機器を接続するだけで、教室が明るくても静止画像や動画を見られるなどの声を聞いています。

答 「デジタル教科書」は、パソコン等の画面に教科書の文章や写真等が映し出され、児童・生徒が、録音された文章の音声聞きながら読み進み、音声に対応する文章の色が変わって強調されます。また、音声の速さや、文字の大きさも調整でき、読みが困難な学習障害等の児童生徒のみが、使用でき、教員は、実際の指導にのみ利用できるものです。

村内小中学校では「デジタル教科書」の導入が検討されています。

問 「電子黒板」の評判は

答 「電子黒板」は、国語、算数、理科、社会、英語、技術家庭などの教科や、道徳、特別活動の領域、総合的な学習の時間、小学校での外国語活動や、教職員の校内研修や来客への学校紹介等にも活用しています。

問 各小中学校に設置された「電子黒板」の活用状況と、教職員や生徒達の反応は。

答 「電子黒板」は、国語、算数、理科、社会、英語、技術家庭などの教科や、道徳、特別活動の領域、総合的な学習の時間、小学校での外国語活動や、教職員の校内研修や来客への学校紹介等にも活用しています。

男女共同参画計画の 進みぐあいは 審議会委員への女性登用率 目標に届かず

新志会
佐藤 美喜子議員

問 男女共同参画計画は17年度に策定され、現在中間年の見直し作業が行われています。

私は19年6月定例会でこの事を取り上げました。

その後どの様に推進され、総括されているか伺います。

県主催のセミナーへの参加を企業に呼びかける程度で積極的展開はできませんでした。

審議会委員への女性の登用率は30%を目標としましたが届いていません。その要因は団体推薦にあつては主要なポストからの推薦にならざるを得ず、そこに女性が就任していない状況と考えます。

環境づくりの施策は、経済不況により休業制度はあつても取れないなどそれぞれの実情もあ

問 クイックスイートの村の特産とするために生産者・加工業者・消費者をつなぐ仕組み作りを強力に進めるべきではないか。

クイックスイートについて

答 苗購入補助や大規模化に伴う管理機械補助などの各種制度を組み合せ生産拡大と農家の所得向上を図ります。加工品については、材料調達、販路のしくみを整え関係機関と連携し支援してまいります。

音訳テープの利用は

問 視覚に障がいのない人にも利用できるよう拡大する考えはないか。

答 音声訳テープの利用拡大については、希望者が利用しやすいように取り組み、関係各課団体とも協議して配置についても考えます。



▲テープ作成中のボランティアサークルこだま

交流都市・友好都市 構想の考えは 整合性を勘案しつつ 検討します

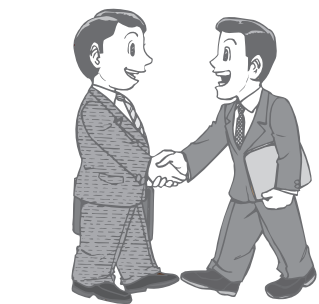
春緑クラブ
日向 清一議員

後期計画の重点政策にあります「滝沢らしさの確立」を推進するとして、政策実現の手段として、住民の意識高揚の観点からも様々な可能性をひかえていると考えます。

交流都市・友好都市の提携そのものを目的とするのではなく、本村及び本村住民が向かう将来像の実現のために有益と認められる場合には整合性を勘案し検討します。

答 滝沢らしさを創り出す活動としては「滝沢ブランド」の創出・絆につながる地域コミュニティの構築・信頼される行政活動の推進」という3つの切り口からの政策展開することとしています。

交流都市・友好都市の提携・締結については、



問 交流により滝沢ブランドの取り組みと推進、更には地域活性化が図られるものと思われ、但し、考えを伺います。

答 「滝沢らしさの確立」という政策が実現されたときは、滝沢村の知名度が向上し地域ブランドとして外的循環への連鎖が図られ、滝沢村の地域経済が活性化する状態です。

地域の良好なコミュニティが確立され、信頼される行政との協力関係が一層充実して持続可能な自治体として住民が誇りに思えるような状態であり、この目標に少しでも早く到達するための最適なパートナーと認められる自治体の存在が明らかになった場合には適宜に対応してまいります。